

平成 21 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 日本ベリサイン株式会社
代表者名 代表取締役社長 古市 克典
(コード：3722、東証マザーズ)
問合せ先 取締役副社長兼最高財務責任者 西 康宏
(TEL. 03-3271-7011)

特別損失の発生 及び 平成 21 年 12 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 12 月期第 3 四半期決算におきまして、下記のとおり減損損失を特別損失に計上いたします。あわせて最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

I. 特別損失の発生

当社は総合的な情報セキュリティサービスプロバイダーとして事業領域の拡大をはかることを目的として、平成 17 年 10 月にサイトロック社の全株式を取得し、完全子会社といたしました。

外部監視サービス事業などでシナジー効果を見込みましたが、同社の買収以降、価格競争が想定以上に進展し、さらに昨年秋の金融危機に端を発する景気後退の影響を大きく受けました。

こうした状況下、同社の企業価値の再評価を実施した結果、平成 21 年 12 月期連結第 3 四半期決算において、のれんの減損損失 962 百万円を特別損失として計上し、同期個別決算においては、関係会社株式評価損 1,089 百万円を計上することといたしました。なお評価にあたっては、第三者機関から評価を取得し、参考にしております。

II. 業績予想の修正

1. 平成 21 年 12 月期 連結業績予想の修正（平成 21 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

(単位：百万円)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 連結当期純利益 | 1 株当たり 連結当期純利益 |
|--------------------------------|-------|--------|--------|---------|-------------------|
| 前回発表予想 (A) | 8,470 | 1,700 | 1,730 | 960 | 2,111.01 |
| 今回修正予想 (B) | 8,000 | 1,700 | 1,730 | 0 | 0.00 |
| 増減額 (B - A) | △470 | 0 | 0 | △960 | - |
| 増減率 (%) | △5.5 | 0.0 | 0.0 | △100.0 | - |
| (参考) 前期連結実績 (平成 20 年 12 月期) | 8,380 | 1,992 | 2,042 | 936 | 2,060.01 |

2. 平成 21 年 12 月期 個別業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|------------------------------------|-------|---------|---------|-----------|-----------------------|
| 前回発表予想 (A) | 7,800 | 1,720 | 1,800 | 1,030 | 2,264.94 |
| 今回修正予想 (B) | 7,400 | 1,720 | 1,800 | 0 | 0.00 |
| 増 減 額 (B - A) | △400 | 0 | 0 | △1,030 | - |
| 増 減 率 (%) | △5.1 | 0.0 | 0.0 | △100.0 | - |
| (参 考) 前 期 実 績 (平成 20 年 12 月期) | 7,835 | 2,023 | 2,077 | 1,001 | 2,203.56 |

3. 業績予想の修正理由

昨年秋以降の、米国発の金融危機による景況悪化により、企業の I T 投資意欲が冷え込み、投資額は急激に縮小しました。景気回復の明るい兆しが見られつつありますが、企業の慎重な投資姿勢が大きく反転するに至らず、当社サービスは全般的に、I T 投資、特にセキュリティ関連への投資見送りの影響を受けています。こうした厳しい状況の中、セキュリティコンサルティング等、その他サービスの縮小とあいまって、当社の売上高は期初の予想を達成するのが困難な見通しとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、経費の抑制と、社内リソースの効率的な配分に努めた結果、具体的には広告宣伝費の選択的な費消と、プロダクト部門とマーケティング部門の組織統合の成果により、売上高減少の影響を吸収できると見込んでおります。当期純利益につきましては、平成 21 年 12 月期連結第 3 四半期決算においては、のれんの減損による 962 百万円を、同期個別決算においては関係会社株式評価損 1,089 百万円を、それぞれ特別損失に計上することもあり、通期の当期純利益は上記となる見通しです。

なお、期末配当金につきましては、従来予想通り 1 株につき 370 円を予定しております。

※ 本業績につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、監査法人の監査が終了していない速報値でございますので、決算数字とのずれが生じる可能性があります。確定値及び詳細につきましては判明次第すみやかにお知らせいたします。

以 上